



特別委員会視察報告



伊那市議会にある2つの特別委員会がそれぞれ視察を行いました。今回はその様子を「報告」します。

議会改革特別委員会

議会改革特別委員会は、10月4日、会津若松市議会に議会基本条例についての行政視察を行い、今回、初の試みとしてオンライン形式で実施しました。



オンライン視察の様子

当市の飯島議長と会津若松市の清川議長のあいさつの後、早速会津若松市が先駆的に取り組んだ議会基本条例の制定に至るまでの経緯と、制定後の運用についての

説明を受けました。

伊那市議会基本条例を検証する中での課題を質問事項として伝えておき、その一つ一つについて清川議長から回答をいただきました。質疑応答も行い、大変中身の濃い有意義な会議となりました。

コロナ禍のため、他の議員の皆さんとの意見交換ができず残念な思いもりましたが、一日も早いコロナの終息と再会を願いました。



道路・戸草ダム問題等特別委員会

10月11日(月)、現在工事が進んでいる三遠南信自動車道(自動車専用道路)の視察を行いました。

今回の目的は、すでに完成した天龍峡大橋と、工事中の氏乗IC(仮称)付近及び目玉的存在の青崩トンネル(仮称)の2か所で、国土交通省 中部地方整備局 飯田国道事務所 市川副所長に案内していただきました。



工事中の青崩トンネル(仮称)

青崩峠は長野県と静岡県との県境にあり、秋葉街道、国道152号の峠の一つで、中央構造線が縦貫しています。峠付近は、

中央構造線の活動の影響を受け脆弱化した岩盤が残存して分布している、崖崩れ等が多発し、崩壊による急崖が連続する険しい地形が形成されています。

そんな脆弱な岩盤が分布し、急峻地形をなす場所での道路工事は非常に困難なことが予想できます。急峻地形、不良山地を回避した青崩峠西側(西南日本内帯)を通過するトンネルを主体とした道路整備により、国道152号の通行不能区間の解消を実現できるそうです。



天龍峡大橋の車道の下に設けられた歩道。高さはなんと80m!

